

さらば わが同胞よ
この私の死と最後の言葉が
むだでない事を祈り
別れを告げる

チリ・アジェンデ政権の最期を描いて
「アルジェの戦い」以来最高の傑作!

ジャン＝ロイ・トランティニャン
ローラン・テルジェフ
アニー・ジラルド
ビビ・アンデルソン
リカルド・クッチョーラ
ベルナール・ブレッソン
ニコール・カルファン
フランシス・バルガリア・スター総出演
マドモ・ベトロラ (アジェンデ大統領)

＜カラー作品＞フランス・ブルガリア合作

IL PLEUT SUR SANTIAGO

サンチャゴに雨が降る

監督・脚本エルビオ・ソトー／製作ジャック・シャリエ／撮影ジョルジュ・バルスキー／音楽アストル・ピアソラ



松竹・富士映画共同配給



サンチャゴに雨が降る

《カラー作品》フランス・ブルガリア合作
1975年度作品／1時間54分

★ スタッフ ★

製作……………ジャック・シャリエ
監督・脚本……………エルビオ・ソト
台詞……………ジョルジュ・コンション
撮影監督……………ジョルジュ・バルスキー
音楽……………アストル・ピアソラ

★ キャスト ★

上院議員……………ジャン＝ルイ・トランティニャン
特派員カルベ……………ローラン・テルジェフ
マリア・オリバレス……………アニー・ジラルド
カルベの妻モニク……………ビビ・アンデルソン
報道官アウグスト・オリバレス……………リカルド・クッチョーラ
経済相ブスコビッチ……………ベルナール・フレッソン
アジェンデの娘イザベル……………ニコール・カルファン
サルバドル・アジェンデ大統領……………マトチョ・ペトロフ

IL PLEUT SUR SANTIAGO

いま、真実が明らかにされる！ 雄大なスケール、感動を呼ぶ人間ドラマ！

解説

フランス映画界とブルガリア政府が総力を結集してつくりあげた一大戦争スペクタクル叙事詩である。

すでにイタリアとアルジェリア合作の「アルジェの戦い」という民族の抵抗史が素晴らしいタッチで結実された傑作があったが、この「サンチャゴに雨が降る」は、一九七〇年、チリ社会党、共産党を中心とするサルバドル・アジェンデ大統領の「人民連合」政府の擡頭から七三年九月十一日、チリ軍部反動派による《軍事クーデター》でのアジェンデ大統領の死の全貌までを事実上忠実に再現、膨大なスケールと人間ドラマで描いた感動の超大作である。

製作費七億円、準備期間約三年、登場人員五万人、主要出演者十四人、製作期間七ヶ月、全シーン同時使用カメラ四台、フランスとブルガリアの主要スター総出演とその規模も大きい。

内容構成は、全篇ドキュメント・タッチで描かれているわけだが、三つの話から成り立っている。まず第一は七三年九月十一日モネダ宮殿における大戦闘とアジェンデの死、更にサンチャゴ市内の学生デモと市街戦、第二は七〇年九月の大統領選挙戦と人民統一戦線の闘争、第三はクーデター後一週間における革命会議が行なった残虐行為をクロースアップしていく。そしてラストのチリの誇る偉大な詩人パブロ・ネルーダの葬儀が大きな感動を呼ぶ。

出演は、フランスから「フリック・ストーリー」のジャン＝ルイ・トランティニャン、「王女メデシア」のローラン・テルジェフ、「フレンチ・コネクション2」のベルナル・フレッソン、「ボルサリーノ」の新星ニコール・カルファン、「太陽は傷だらけ」のセルジュ・マルカン、イタリアから「愛のために死す」のアニー・ジラルド、「ボルサリーノ2」のリカルド・クッチョーラ、スウェーデンから「野いちご」のビビ・アンデルソンその他フランスやブルガリアのトップ・スター、更にブルガリアとチリの労働者、学生が数多く友情出演、アジェンデ大統領にはブルガリアの名優マトチョ・ペトロフが扮している。なお、これらプロの俳優たちは、現在のチリ軍事政権に反対する人々で、出演料はすべてノーギャラである。

監督・脚本は、この映画が五作目というチリ出身の鬼才エルビオ・ソト。彼は七三年映画に描かれている如くアジェンデが倒されてからフランスに亡命、活動してきた人で、トップ・テレビ監督、小説家としても知られている才人である。更に彼とこの映画の脚本及び台詞に参加しているのは六四年にゴンクール賞を受賞しているジョルジュ・コンション。見事な撮影を「栗色のマッドレー」の名手ジョルジュ・バルスキー、音楽をアストル・ピアソラが当り、印象的なメロデーをつくり出している。製作は、俳優出身ですでに「小さな約束」をプロデュースし、大成功をおさめたジャック・シャリエ。

“この映画の主役はなんといっても民衆そのものとアジェンデ大統領である。そして私はこのアジェンデ大統領が英雄でもなく、空想家でもない、他の多くの人々と少しも変らない人間であることを描こうとした。更につけ加えるなら映画の中で私は単に一個人の人間を描いたのではなく、ひとつの民族の抵抗史を描こうと試みた。ウソの多い政治映画を私は信じないし、それは退屈なものだ。”

(上映時間1時間54分)

近日待望のロードショー

渋谷 ジョイシネマ
(462) 2539